

新年度が始まり、新たな気持ちで業務や学業に取り組んでいる方も多いと思います。本誌も、3年間にわたり連載してきました「鉄道総研の技術遺産」に替わり、今月号から新たに連載記事「鉄道技術用語辞典より」が始まりました。「鉄道技術用語辞典」は、鉄道を技術的に支える各工学分野で用いられる用語を解説する辞典として鉄道総研が編集したもので、1997年に初版、2006年に第2版が刊行されました。これに掲載されている付図の中から、毎回一つの付図について用語の解説をしていきます。

さて、今月号の特集では「鉄道の国際規格」について紹介しました。わが国の優れた高度な鉄道技術を海外へ展開していくために

は、その技術を国際規格に取り入れていくことが必要となっています。このため、国際標準化については国を挙げて取り組んでいるという状況にあります。国際規格を提案して作り上げるまでに3年以上を要し、その間多くの関係者と大きな労力を維持しなければならぬといえます。粘り強く地道な活動を期待したいと思います。

来月号の特集は「つなぐ」です。鉄道システムにおいては、さまざまなものをつなぐ場面があります。つなぐことに関わる研究開発の一端をさまざまな分野から紹介しますのでご期待下さい。
(M. A.)

■2015年3月号の訂正とお詫び

RRR誌2015年3月号の鉄道総研ニュース『部外表彰』に誤植がございました。ここに訂正してお詫び申し上げます。

頁	記事	箇所	誤	正
43	部外表彰	2行目の件名	液状化を考慮した応答変位法に関する基礎的検討	地盤の非線形性を考慮した耐震設計に用いる地盤種別の分類方法
		4行目の件名	繰返し載荷試験によるバラスト安定処理工法の沈下抑制効果の検証	大型振動台試験によるバラスト軌道の地震中道床横抵抗力に関する検討